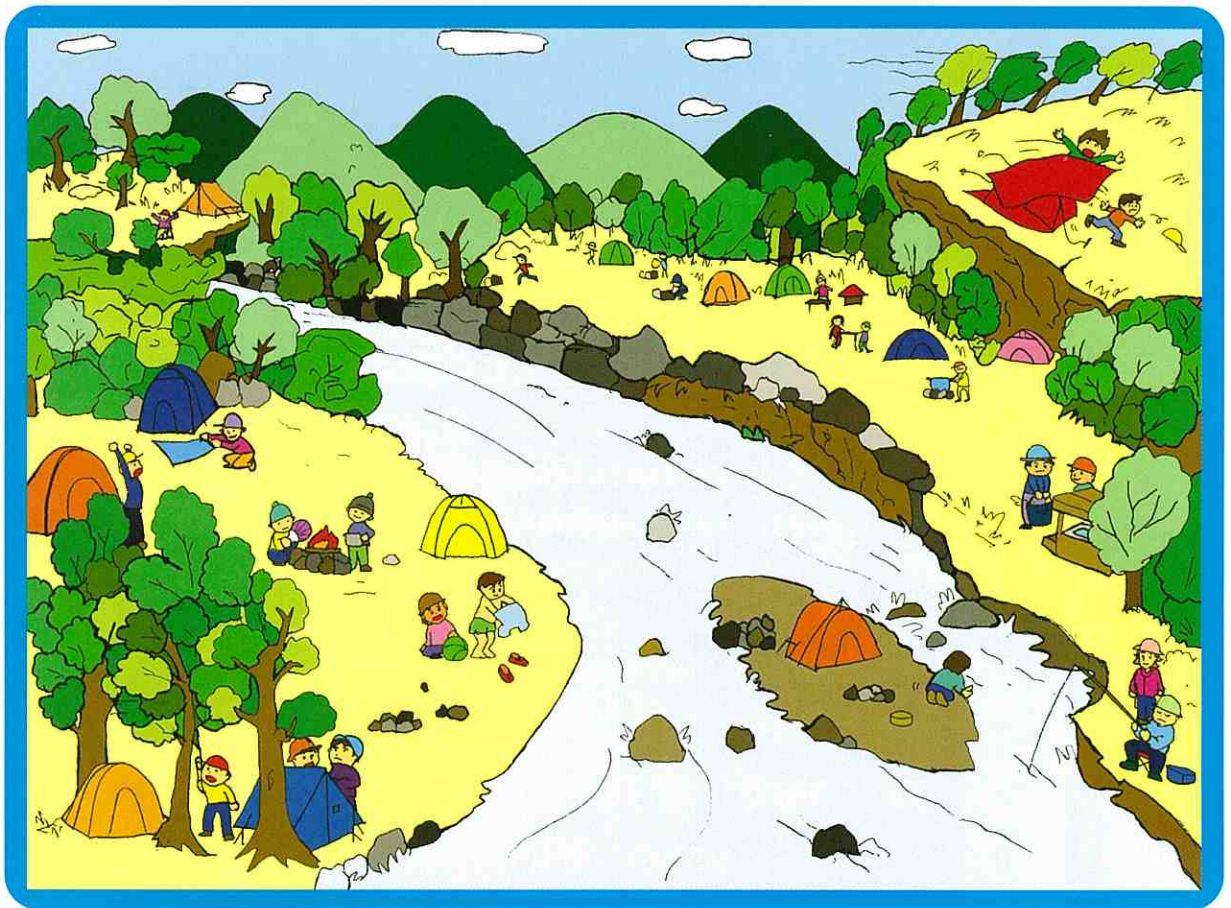


安全なキャンプ のために

PART 4
～危険を学ぶ～



社団法人 日本キャンプ協会

キャンプの安全について 考えましょう

自然の中で、家族や仲間たちと楽しむことが出来るキャンプは、私たち現代人にとって、かけがえのない素晴らしい活動です。

最近ではキャンプ用品や用具などの普及によって、より多くの人々が気軽にキャンプを楽しめるようになってきました。

しかし、それに伴ってアウトドアの活動中の事故やケガが増えてきていることも見逃せません。

キャンプは自然の中で行われるものだけに、安全に対する配慮を忘れてはなりません。楽しいはずのキャンプで事故に遭ったり、健康を害したりすると、とたんにキャンプがつまらないものになってしまいます。

キャンプに限らず、安全は与えられるものではなく、自らが作り出すものです。

この冊子ではキャンプで想定される10の場面を取り上げ、その場面にある危険を考えることによって、安全で楽しいキャンプを作り上げようとするものです。

最初は絵を見て、その中にある危険なところを一人ひとりでチェックしてみましょ。そして、次のページの解説を見ながら、家族や仲間たちと話し合っ、安全なキャンプのための方法を確認しましょ。

野外活動での注意すべきことがらを知り、これを守り、ひとりでも多くの人々が安全で楽しいキャンプをすることが出来るよう願っています。

(社) 日本キャンプ協会 安全管理委員会

◎野間口 英 敏	高 見 彰
○畠 中 彬	長 井 せつ子
伊地知 祐 介	中 村 正 雄
大 橋 光 雄	眞 木 潔
佐 藤 初 雄	(◎委員長 ○副委員長)



もく じ

	ページ
1. テント設営での危険	2
2. キャンプ場での危険 (昼間)	6
3. キャンプ場での危険 (夜間)	10
4. 野外料理での危険 (総合編)	14
5. 野外料理での危険 (燃焼器具編)	18
6. 野外料理での危険 (調理用具編)	22
7. ハイキングでの危険	26
8. 川遊びでの危険	30
9. 海辺での危険	34
10. キャンプファイヤーでの危険	38



NCAJ

National Camping Association of Japan

安全なキャンプのために PART 4 2006年6月25日発行

編集 社団法人 日本キャンプ協会 安全管理委員会
イラスト 吉田雅江
発行者 酒井哲雄
発行所 社団法人 日本キャンプ協会
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター
TEL 03-3469-0217 Fax 03-3469-0504
E-mail ncaj@camping.or.jp www.camping.or.jp

この冊子は平成15年用寄附金付お年玉付郵便葉書等寄附金で作成しました。

Copyright (社)日本キャンプ協会 無断転載禁ず